

事故多発地点

30

周船寺



高田神社



イワロを狭く



軽車両と除く
ここから

ここから

ここから

ここから

ここから

ここから

ここから

ここから

ここから

ここから

ここから

ここから

ここから

ここから

ここから

ここから

ここから

30



前原名店街

唐津街道



いせの木の家

前原宿

伊勢の国 前原市

伊勢の国
若武者

二番

前原宿



店舖

117 3000

急用前注意禁止

綿屋

脇本陣：綿屋
前原宿



脇本陣: 綿屋

前原宿



よしのや 住設塗料

前原宿



前原問屋場跡

前原宿



代官所跡
前原宿



前原宿



前原宿



20

石 追分 越前 港道

賃 貸
0851-6555
入居者募集
ハッピーハウス(株)
早良店

追分石



前家西四丁目 5

追分市 追分道

追分市 53

賃貸

0855-1-6555

入居者募集

ハッピーハウス(株)
早良店

前原西四丁目 6

追分石



前原市役所
&
丸太池



前原市役所
&
丸太池



神在
右:旧道



西宮神社



諏訪神社



銚子塚古墳
200m

銚子塚古墳入口



銚子塚古墳



銚子塚古墳



30

熊野神社



熊野神社



筑肥線沿線

水対策特別事業
貴山排水機場

加布里追分石

加布里追分石

距
東前原驛一里十六町一箇
西深江驛二十七町一箇

加布里追分石

稻荷神社

献

納

納

稻荷神社



溝尻地区:神社



溝尻地区：神社



溝尻地区:旧道



溝尻地区:旧道

九州石井運輸



松本稲荷



深江宿入口:石橋



深江宿



深江宿: 大燈籠



深江宿:旧家



深江宿:旧家





深江宿:旧家



深江宿



深江神社

深江神社御由緒

祭神 玉依姫命（神武天皇の御母）宝瀨宮
菅原道真命（菅原道真）菅原道真十世の孫天瀨宮

建久八年（一八七〇年）高福城主原田種直公は、
原田家再興の守護神として、宮門宝瀨宮及び
太宰府天満宮を上深江片峯に勧請されたが、
境内の狹隘を恐れ、建仁三年（一〇三〇年）深江
現在地に御奉遷鎮座申し上げられた。
これが深江神社の起源である。

降つて豊臣秀吉公が名護屋城在陣の折り天
正二十年八月（一五九二年）当社に参拜された時
に、奇しくも秀頼公誕生の報を受け、秀吉公
恭悦しならず、当社は秀頼公の産神なりと懇
召された。

早速、時の領主小早川隆景公に命じ、御社
殿を再興させられ、なお、秀頼公誕生を記念
して深江神社の宮司の坊を誕生山神護寺秀覚
院と改号された。隆景公も石の鳥居を奉納さ
れたのであるが現在の第二の鳥居がそれである。
慶長十八年（一六三三年）唐津領主寺次忠厚守
は当社に百間四方の社地を寄進され、なお
大久保加賀守の代に至るまで、年々米二石の
献納が行われた。

享保二年（一七二一年）中津領となつてからは、
怡土郡西十四ヶ村の総宗廟として、近郷近在
の尊崇厚く、秋の神嘗祭は殿殿を極め、大正
初葉までは流鏝馬行事も行われ、盛大な神事
であつた。



深江神社



猿田彦



深江宿外れ: 梵字石



芝川

30



宮幡八石懷鎮



鎮懷石八幡宮
九州最古の万葉碑



万葉碑



八幡宮後方の旧道



深江海岸



深江海岸



深江海岸



わくどう石



わくどう石



わくどう石



佐波: 薬師堂



佐波遠景